

小3～

地球環境問題について考えてみよう

何人でも

1時間

広島市の高さを調べてみよう

屋内

概要

地図中の土地を色分けする作業を通じて、広島平野には海拔高度の低い地域が多いことを理解する。

ねらい

温暖化による海面上昇は決して遠い南の島国の話だけではないことを実感させ、温暖化の問題を身近な問題として考えるきっかけとする。

地域を身近に感じるとともに、広島市は太田川デルタの上に埋め立てをしながら広げられた低く平らな土地の上に成り立っていることを理解する。

準備物

等高線の入った地図（人数分）

色鉛筆（青・緑等数色）

筆記用具

進め方

活動	時間	内容	注意事項
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> 学校の海拔高度はどのくらいか質問する。 もし、海の高さが数m高くなったらどうなるかを想像させる。 等高線の意味を理解させる。 等高線の入った地図を配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> 中区・西区・南区・東区の多くは5m以下。 海面上昇が他人事でないことを実感させるためになるべく具体的な例をあらかじめ準備しておく。
作業	35分	<ul style="list-style-type: none"> 海拔高度1m以下の地域を青色に彩色する。 海拔高度2m（または3m）以下の地域を調べて、緑色に彩色する。 	<ul style="list-style-type: none"> 等高線に沿って正確に彩色するよう指導する。
まとめ	10分	<ul style="list-style-type: none"> 彩色した地図から何がわかるか感想を聞く。 もし、海面の高さが1mまたは2m上がったら広島市はどうなるかを質問しながら、海面上昇の問題を自分の地域を通して考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 彩色が最終的な目的ではないので、まとめを必ず行うこと。 実際は堤防などがあるため、例え1mの海面上昇があってもそのまま海になるわけではないが、海面上昇を身近な問題ととらえるための作業である。

（授業の場合 45分×1）

注意事項：海辺から距離があるエリア（安佐北区、安佐南区など）では、自分の問題として捉えにくいいため、まとめに注意する。

引用参考文献

広島新史地理編（広島市）

都市地盤図（広島地区）1/25,000（建設省・広島県・広島市）

土地条件図（広島地域）1/25,000（建設省国土地理院）

解説

- 添付してある地図は太田川デルタの地盤高を表した地図である。（広島新史地理編より）
- 1/25,000地形図などを利用して、地形図中の三角点・水準点・標高点を探す（何個探すかというゲーム的にしても良い）ことを通じて、低く平らな土地だということを理解させる学習も、同様の効果がある。

次の地図は広島市の中心部の等高線を表したものです。もし、広島市のまわりの海が、1 m高くなったらどうなるでしょう。高さが1 mより低い土地を青色にぬって考えてみましょう。同じように、2 m高くなった時も緑色にぬって考えてみましょう。

